



6 伝統文化をつなぐヒノキの森

▶ 樹木医でもあるインタープリターが、切り株を指さしながら、内部の構造や年輪の意味を伝えています。



5 極楽寺



極楽寺境内で松明に仕上げ、二月堂まで担いで運びます。

▲ 松明調進の起源を極楽寺の前でインタープリターがお話しました。極楽寺は道観長者によって創設されたと伝えられています。

7 自然の中で楽しくゲーム!



マムシグサ



鮮やかな新緑の中でハイ！チーズ！

▲ 参加者だけでなく、インタープリターのみなさんも、とても楽しそうでしたが印象的でした。今回でツアーの開催は3回目ですが、なかにはリピーターもいました。

しばらく山道を歩き、さわやかな風が吹く雑木林の丘でお弁当です。休憩後はインタープリターの千種さんが用意した色紙と同じ色を、自然の中から探すゲームを行いました。赤オレンジ黄黄緑、深緑青茶、金色など、ありそうでなかなか見つかりません。ほかの人が見つけたものを見て、「こんなものもあったの!？」と驚きの声もあがりました。

このゲームは参加する人や、場所、季節によって見つかるものが全然違うそうです。最後に千種さんから、自然の持つ多様性や、光合成の大切さ、植物と他の生き物との関わりなどについてお話がありました。

自然の中で「色いろ探しゲーム」

集落をぬけ、「伊賀一ノ井松明調進」の行われている極楽寺へ向かいます。松明調進は毎年、極楽寺の山からヒノキを一本切り出し、「お水取り」が行われる奈良東大寺の二月堂へ納める行事です。ここでは、松明調進の起源になった道観長者のお話を聞きました。

その後、松明調進に使われるヒノキが育つ山へ辿り着きます。今年選ばれた木の切り株を見ながら、樹木の構造や日光と木の成長の関係などを聞き、みんなで年輪を数えました。

約760年続く伝統文化 松明調進

たいまつ ちょうしん

楽しいツアーにするために

このツアーを企画する宮本さんをはじめ赤目インタープリター研究会のみなさんは、コースの下見や山道整備を行い、勉強会も開いて、安全で楽しいツアーになるよう準備しています。

また、ツアーコースの中に地域で暮らす人のお話を組み入れることで、参加者と地域の距離を縮め、親しみが感じられるような工夫もしています。

赤目インタープリター研究会 主催

秋の「赤目秘境探勝ツアー」参加者募集中!

近鉄赤目駅を出発、田園・里山の景色を楽しみながら、天狗観岩、竜神山、七ツ池を巡る約12キロのコースを予定しています。

開催日 11月17日(日) 9:00~16:00頃

募集人数 25名 (先着順)

〈ツアーのお問合せ・お申込み先〉
赤目インタープリター研究会 事務局
特定非営利活動法人 赤目四十八滝溪谷保勝会
(Tel) 0595-63-3004 (Web) <http://www.akame48taki.com>

里山観察



山頂七ツ池

